

衆議院2区  
補欠選挙

# 統一候補に松木けんこうさん 政治の転換へ全力でとりくもう

4月13日公示・25日投票でたたかわれる衆議院北海道2区補欠選挙の野党統一候補が松木けんこう前衆議院議員に決まりました。3月28日に、「戦争させない市民の風」と立憲民主党道連・日本共産党道委員会・社会民主党道連が協定書に調印しました。今回の補選は収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛元農水大臣の辞任によるもので、安倍・菅政権による政治の私物化に審判を下して政治の転換を実現する選挙となります。そして「市民と野党の共闘」を秋までにおこなわれる衆議院総選挙にむけてさらに前進・発展させることをめざします。

建交労北海道本部は、2月の第41回道本部委員会決定にもとづき、北海道2区（札幌市北区と東区）在住の組合員はもとより全道の組合員が野党統一候補・松木けんこうさんの勝利のために全力で選挙闘争にとりくみます。

## 道本部建設部会第18回総会 賃金引き上げのとりくみ重視

道本部建設部会は3月29日に第18回総会をオンライン併用で開きました。総会には5支部9人が参加し、前回の総会以降のとりくみをまとめるとともに新年度の運動方針を決めました。河合部会長と道本部の森国委員長のあいさつのもと、須貝事務局長が議案を提案し、公共工事設計労務単価がわずかな引き上げにとどまったこと、建退共の電子化や掛け金の引き上げ（今年10月から310円から320円に）、有給休暇5日分付与の義務化など建設労働者をめぐる情勢や課題について議論しました。こうした中で、組織拡大・強化（建交労を知ってもらう）ことをはじめ、建設労働者の賃金引き上げのとりくみを重視して業界団体への要請発注者との交渉を強めること、事業団の仕事拡大とハローワーク前アンケートなどの方針を確認しました。

各支部からの報告では、函館での現場調査結果、旭川で昨年末に「公契約条例研究会」と名称を変えてとりくみを強めること、十勝からはコロナの影響などで建設労働者の年収が下がっていることなどの発言がありました。

新年度の役員に、河合雅夫部会長（函館）、須貝卓矢副部会長（旭川）、土屋加奈子事務局長（十勝建設）を選出し、今年度は適宜オンラインも活用した全道的な会議を開くことになりました。

## 建専連北海道と意見交換 北海道労働局・開発局に要求書提出

この日の総会后、河合建設部会長と道本部の宮澤書記長は建設産業専門団体北海道地区連合会を訪問し、阿部孝明事務局長と意見交換しました。（詳しくは続報）

また、土屋事務局長が北海道労働局と北海道開発局に要求書を提出しました。